



河井昭成組織内衆議院議員インタビュー

「まじめに生きれば実を結ぶ」を座右の銘に

腰を据えて

生活者と
仲間のために

取り組む

誰もが将来に希望を持てる国を目ざし

IKI・IKIライフクラブの前進、「全職同盟友の会」創設時の発起人会メンバーであった(故)西田八郎元衆議院議員に次いで、滋賀1区の議席を引き継いだ川端達夫元衆議院議員の引退後、1区の議席を取り戻すべく戦い当選した「河井昭成」衆議院議員へのインタビューを行いました。当日は、第221回特別国会の最中でありながらも快く受けていただいた河井議員は、さわやかな笑顔で議員としての取り組みと未来への思いを熱く語ってくれました。

組合活動から政治の道を目指す

河井昭成衆議院議員 その中で、のちの人生は、早稲田大学理工学部機械工学科に進学のと、大学院理工学研究科を終了。卒業後、化学繊維や環境、医薬品・医療機器など幅広い分野を網羅する化学メーカーの「東レ」に入社しました。仕事充実してきたころ、歴史と伝統のある東レ労働組合の活動に携わることになり、持ち前の頑張りでも東レ滋賀県支部の組合活動を精力的に取り組み、

地方議員から衆議院議員へ

その後、河井議員は自ら大津市会議員として滋賀県議会議員でもUAゼンセン組織内議員として活動をスタート



尊敬する川端達夫元衆議院議員の書とポスターを前にしての撮影

したが、思いもよらぬ滋賀1区での川端議員の落選(比例近畿ブロックで当選)という結果を経験し、この時、「実績もあり、働く仲間と生活者のための政策実現に力を注ぐ川端先輩が、なぜ落選するのか」との憤りが政治活動を決意するきっかけとなったそうです。

トシ、働く仲間の声を届け続けました。そして今年2月の第51回衆議院議員選挙に滋賀1区から立候補を決めました。この時、政界を引退した川端元議員から二つの古い議員バッジを託されたといひます。一つは、川端氏が初めて当選した時のもの。もう一つは、川端氏が初めて立候補した際に、全職同盟「ゼンセン同盟(当時)の組織内衆議院議員であった西田八郎氏

仲間のための政策実現を訴え初当選

二つのバッジは「自家の神棚に飾っていただきます」と語る河井議員は、「まじめに生きれば実を結ぶ」をスローガンに掲げた川端議員のポスターを前に、UAゼンセンに集うIKI・IKIライフクラブ会長によるインタビューをご覧ください。

誰もが将来に希望を持てる国を目ざす!

田村会長(以下田村) 日本の将来の夢やあなすべき姿をどう考えますか。河井衆議院議員(以下河井) 日本が目ざすべき姿は「誰もが将来に希望を持てる国」だと考えています。人口減少や少子高齢化が進む中でも、安心して働き、学び、暮らせる社会をつくること、技術や人材を育てることが重要。また、自由や人権、法の支配といった日本が大切にしていた価値を守りながら、多様な人々が互いを尊重し、支え合える



河井昭成 UAゼンセン組織内衆議院議員



田村雅宣 IKI・IKI ライフクラブ会長



「まじめに生きれば実を結ぶ」という川端達夫元衆議院議員のポスターを背に自身の政治活動の基本姿勢を語る河井昭成衆議院議員

足元の安心を感じられる社会を実現したい

田村 高齢者の暮らしが様々な要素で厳しく感じられるこの頃ですが、足元の諸課題についての考えは? 河井 やはり物価高への不安は大きくなっています。現役は賃上げ闘争などの対応も

人生百年時代を生き抜くにはバランスが大事

田村 医療や介護など社会保障は現役世代にもいつか来る道です。河井 少子高齢化が進む中で、人生百年時代を高齢者の皆様が安心して生き抜く方策を政治がどう取り組むべきか。医療や介護は誰が利用できる可能性のある大切な制度であり、社会全体で支えて



初登院の様子。左から田村まみ組織内参議院議員、川合孝典組織内参議院議員、河井昭成組織内衆議院議員、堂込まきこ組織内参議院議員とともに

また、高齢者の皆さまには、支えられる側としてだけでなく、長年培ってこられた経験や知識を地域や社会で活かしていただくことも大切です。健康寿命の延伸や介護予防を進めながら、高齢者の安心と現役世代の負担のバランスが取れた社会保障制度を築いていくことが、これからの社会に求められていると考えています。そのためには「真つ当な政治の実現」が大事です。



全国からWEB参加を含む50名の担当者が受講した合同説明会

3 制度の理解深める 合同説明会を開催!

ベネステ登録+
見舞金制度申請+
マイカー共済利用
に向け

窓口担当者集め留意点など学ぶ 各制度の概要や実務内容を特化し理解へ

IKI-KI ライフクラブは5月15日、本部会議室に都道府県支部の定時職員および事務担当書記とWEB参加者の総数50名を集め、①会員の福利厚生制度としての「ベネフィット・ステーション」利用促進の取り組み、②旧「友の会」会員に向けた見舞金制度申請における留意点解説、③次年度よりOG・OB会員向けに採用予定の「こくみん共済COOP」マイカー共済団体割引の適用と利用促進の合同説明会を開き、ベネフィット・ステーション担当者、見舞金制度担当者、こくみん共済担当者からそれぞれ制度の概要と実務について説明を受けました。



録およびサービス利用が依然として低迷していることから、多くのOG・OG会員にアプリ登録を各都道府県支部の担当者が指導できるようにするため開催されました。

ベネフィット・ステーションのアプリ登録は、会員のみならず家族招待によるベネフィットアカウントの登録で、二親等以内の親族においてもより多くのサービスが利用できるようになります。このためアプリのダウンロード方法を、都道府県による説明は、①アプリ担当者が学び、②オリのダウンロードとベネアカウントの登録方法、③各種サービスの紹介と活用事例、④利用促進のための取り組み方法などを、ベネフィット担当者

合同説明会は、福利厚生制度の一環として導入された「ベネフィット・ステーション」のアプリ登録のため

必要書類添付と申請期間90日 見舞金制度の必要事項の周知徹底を!

「見舞金制度申請における留意点」については、UAセンセン生活応援事務局見舞金申請担当者から説明が行われました。

現在、見舞金制度申請は一日平均70件を超える申し込みがあり、申請増加に対応するため昨年7月からWEB申請化を進めた経過も踏まえて丁寧な解説が行われました。

この見舞金制度は、

窓口担当者の理解深める

「マイカー共済導入」ともなう対応方で、こくみん共済COOPの「マイカー共済」は、9月8日開催の第7回全国代表者会議で



アカウント登録などマンツーマンでレクチャーを受ける参加者

み事例など具体的な資料説明が行われました。

この中で、1月からリニューアルされた地図検索方法では、アイコンをより直感的に見やすく、「おすすりカテゴリー」もタップで絞り込めるデザイン刷新や地図上で特典を確認できるよう、ステップ短縮によって大型クーポン表示などを提示する方法が詳しく解説されました。

家族の会員登録で幅広いサービス受けよう

ベネフィットアプリを活用しましょう

制度です。この制度導入にあたっては、UAセンセン都道府県支部が協力団体登録を行うことで利用できるもので、申請手続き窓口が都道府県支部となることから全国で展開できる制度の概要とWEBを活用した見舞金などの仕方が説明されました。

マイカー共済のポイントは、①無事故割引、②事故対応、③等級が最大2等級・65%まであり、事故により等級ダウンしても次回更新で19等級が適用され、掛け金の上昇が抑えられること。②オリジナル制度の「子供特約」を設定すると、運転者年齢条件では「年齢を問わず補償」や「35歳以上補償」、子供特約で「年齢を問わず補償」などを受けることができます。③事故対応は、等級が最大2等級・65%まであり、事故により等級ダウンしても次回更新で19等級が適用され、掛け金の上昇が抑えられること。②オリジナル制度の「子供特約」を設定すると、運転者年齢条件では「年齢を問わず補償」や「35歳以上補償」、子供特約で「年齢を問わず補償」などを受けることができます。

ベネフィット・ワンのアカウント登録が済んだ方は、ご自分のご利用だけでなく、配偶者をはじめお子様、二親等以内の親族(ご家族)を招待することにより、IKI-KI ライフクラブの会員登録だけでなく、登録された家族のアカウントで、ベネフィット・ステーションでの買い物や食事割引、レジャー割引など様々な特典・サービスを受けられます。

ご家族の方々がアカウントを登録する方法は図版を参考にスマートフォンで実行してください。

①「家族アカウントの招待」欄が提示されたら、必要な家族情報項目を記入し「招待」をクリックしてください。

②この家族設定欄の「家族アカウントを追加」欄をクリックすると、この後、会員本人に、確認メールまたはSMSが届きます。その中のリンクをクリック

本人情報入力で登録が完了します

⑥招待されたご家族「録」画面で、本人情報登録案内メール内のURLをクリックし、登録が完了します。

⑦「アカウント本登録」

URLをクリック

これでベネアカウントの登録完了です

IKI・IKIライフクラブホームページにアクセスください!

URL <https://ikiikilifeclub.com>

| 会員便りや支部活動などをエリアねっとで紹介しています |

あなたの自慢話や趣味を募集します
会員便りに投稿ください

IKI・IKIライフクラブは、会員同士「繋がる」を旨とし、都道府県支部において展開される、「集う」「楽しむ」「参画する」活動を積極支援する取り組みを重点活動として展開しています。各支部での活動は、春秋での散策、ウォーキング、グラウンドゴルフ、ボウリング、パズルなど毎年様々な形で展開されていますが、活動内容がその場で集約されるだけでなく、記録として会員間に共有化されれば、新たな活動のきっかけが生まれると確信します。

応募にあたって

①字数：応募原稿の字数は四百〜六百字以内で収めてください。

②原稿には巻頭に、氏名と所属都道府県支部を記入してください。

③写真は活動内容が写っているもの一枚とご自分の顔写真一枚を添付ください。（写真はデータでお送りいただけます）

メールでの投稿も受け付けます。

「宛先」T1021 8273 東京都千代田区

募集内容事例

エリアねっと内容をホームページで検索

IKI・IKIライフクラブのホームページ（HP）は、スマートフォンで会報の一面を簡単に検索することができます。他に、スマートフォン

川柳、俳句、短歌、油絵・日本画・水彩画、写真、釣り、陶芸・金継ぎ、似顔絵、絵葉書、消しゴムハンコ、社寺仏閣めぐり・御朱印集

とIKI・IKIライフクラブのホームページに入ることができ、それをクリックすると「エリアねっと」欄に各支部とも参加者を募集しています。

たい都道府県支部を選択し、各支部とも参加者を募集しています。

ぜひお試ください。

広島県支部発

本道建築の錦帯橋に感激
岩国城で「侍」気分を満喫
ランチ交流
で親交

IKI・IKIライフクラブ広島県支部の西部地域のイベントを5月30日、会場を山口県岩国に移し、日本を代表する木造橋「錦帯橋」や岩国城、岩国市に生息する「シロヘビの館」など見どころ満載の「岩国城散策とランチ交流会」として開催しました。

当日は会員個人やご夫婦での参加もあり25名が集まりました。今回は参加者集めやボランティアガイドで三菱レイヨンユニオン役員OB会にご協力いただきました。見学後は、岩国国際観光ホテルで、会員同士の近況や日頃の生活や活動について情報交換話をしながら昼食の交流を行いました。参加の皆様からはぜひ来年も開催してほしいとの感想が相次ぎました。



石川県支部発

水分補給も忘れずに
谷健一講師も駆けつけ参加
グラウンドゴルフ
で汗流す

IKI・IKIライフクラブ石川県支部は、5月25日に能美郡川北町のスポーツ施設及びスポーツ公園「手取川簡易グラウンド」に参加者46名を集め、「春のグランドゴルフ大会」を開催しました。

グランドゴルフは、1982年に鳥取県で考案された日本生まれのスポーツです。老若男女誰でもプレーできるのが特徴ですが、会場となる場所はフラットが少なく、でこぼこな場所もあり、皆さんとてもてこずったようでした。大会には、組織内議員として活躍する谷健一白山市議も駆けつけ、会員とともに元気よくプレーを重ねてくれました。この日は夏かと思えるほどの暑さのなか、それぞれ水分補給を忘れずに行いながらの対戦でしたが、皆さん元気はつらつグランドゴルフを堪能しつつ、親交を深めました。



東京都支部発

麗しきバラに酔いしれる
イタリアン料理も堪能
春の散策は
旧古河庭園

東京都支部IKI・IKIライフクラブ恒例の「春の散策」が、5月8日、東京都北区西ヶ原の国指定名勝「旧古河庭園」に会員18名が参加し開催されました。会場の旧古河庭園は、バラが咲き誇る洋風庭園と優雅な曲線を持つ「心字池」がある日本庭園など、和と洋が調和する大正時代の面影が濃い名勝です。

テラス式の庭園に植えられた約百種類二百株のバラは丁度見ごろで、薔薇に薔薇（うんちく）深い片岡克之幹事から、多種多様な品種の見方などを学び、バラに癒された会員たちは、日本庭園の枯山水も散策し心地よい空間を楽しみました。

散策後は、六義園近くのイタリアンレストランに移動し、オリーブオイルやトマト、ハーブなどの新鮮な素材を生かした料理とワインを堪能し、親交を深めました。



滋賀県支部発

配置やバランスを工夫し
女性だけの集いに21名が参加
植物の美しさ
閉じ込める

IKI・IKIライフクラブ滋賀県支部は、4月17日、女性の参加・参画を目的とした取り組みとして、初めての「女性の集い（ハーバリウムをつくらう）」の企画を実践しました。当日は、草津市西大馬路の「クサツエストピアホテル」に3組織から21名の女性会員が参加して、ハーバリウム教室が開催されました。

ハーバリウムとは、ドライフラワーなどをガラス瓶に入れ、専用のオイルに浸して作るインテリアです。教室では、講師から花材の選び方やピンセットの使い方の指導を受け、個性を生かした作品を完成させました。教室終了後、茶話会で参加者同士の情報交換などで親交を深めました。滋賀県支部では今後も女性の参加・参画を推進する取り組みとして、継続的にイベントを実施していきます。



佐賀県支部発

OB会員は全員アンダー！
ばかばか温泉で汗流す
パークゴルフ
を開催



IKI・IKIライフクラブ佐賀県支部は4月14日、佐賀市兵庫北にある「パークゴルフ夢の里兵庫」で、毎年恒例となった「パークゴルフ大会」を開催しました。当日は現役会員とOB会員あわせて8名が参加し、久しぶりに顔を合わせた仲間と談笑しながら、18ホールをプレーしました。

大会終盤には小雨が降る場面もありましたが、プレーは終始和やかな雰囲気で行われました。特にOB会員は全員がアンダーパーでホールアウトするなど、レベルの高い内容となりました。

競技終了後は、近くの「ばかばか温泉」で汗を流し、その後、食事会と表彰式を行い、参加者同士の親睦を深め、来年の再会を約束して散会しました。大会結果は、優勝：酒井敏克さん、準優勝：伊東史朗さん、第3位：石田解雄さんでした。

新潟県支部発

美肌効果の咲花温泉宿泊で
第11回幹事会
組織運営見直しで説明受ける
を開催



IKI・IKIライフクラブ新潟県支部の第11回幹事会を3月29日（日）、五泉市咲花温泉の「望川閣」において開催しました。参加者は、役員12名、事務局3名と本部の田村雅宣会長を交え総勢16名でした。

幹事会では、今年度の活動計画を中心に協議し、田村会長からIKI・IKIライフクラブの現状と組織運営の見直しについて説明を受けたあと、特別に「実家じまい・墓じまい」について貴重な体験を聞くことができました。

幹事会後に懇親会が行われ、毎年秋に収穫される地元特産品の「帛乙女」という里芋を洋風にアレンジした料理に舌鼓を打ちつつ親睦を深めました。懇親後は、ニュースでも取り上げられた源泉かけ流しの不思議な3色温泉につかり、日ごろの疲れを癒しました。

なんでも相談ダイヤル

経験豊かなアドバイザーが親身に寄り添い相談をお聞きします。

なんでもお気軽にご相談ください

職場や家庭での悩みはありませんか？

税金の問題って誰に聞けばいいの？

近隣住民とのトラブル、相続、金銭問題

終活の準備って何をすればいいの？

※相談の内容によっては、弁護士、税理士をご紹介します。（初回相談無料）



高橋 節子



矢鳴 浩一



齊藤 恵子



原 要次郎



崎山 千秋

0120-717-671

相談時間

月曜日～金曜日：11時～17時

※土・日・祝・U Aゼンセンの休日は休み